



6匹の猫を飼っています。1匹は貰った猫ですが、5匹は子猫のときに拾った猫です。家の近くにいる飼い主のいない猫を見つけたら、捕獲して動物病院に連れて行き、去勢手術をしています。映画を観て、私も個人で保護活動をやっているだけでなく、ボランティア登録など行い、活動の場を広げようと思いました。(20代 女性)

このような催しに参加したのは初めてです。たまたま、新聞で記事を見て知りました。我が家でも猫を飼っています。うちの猫はかつて飼い主が大量に飼っていたが放棄し、捨てられた猫でした。我が家の猫と画面の猫がダブって見えて、親近感がありました(50代 男性)

とても素晴らしかった。「泣く」「つらい」シーンが全くないのが、新しいと思いました。この問題は「関心のない人」たちにこそ伝わってほしいので、日本がヨーロッパと比べて「遅れている」というこれまでの通説が、すべてではないことも新しい発見でした。TNRのプロセスや実際の様子がわかってボランティアに踏み出す人への後押しになるのでないかと思います。(40代女性)

興味深い内容でした。地域猫にかかわっている多くの人のコメントが聞くことができたのはよかったです。が、脚本上説明が足りないとされたのが、「地域猫活動は外の猫の数を最終的な目標とし、それまでの間『一時的』に行うもの」という点でした。全体を通じて皆なそのように語っているのですが、一般の『活動していない人』にももう少しわかりやすく説明した方がよいのでないでしょうか。その『一時的』に行う間、どのようにするか、地域の人たちとどのようにつきあっていくか、次はそこを突っ込んだ作品が見たいと思います。そこがもっとも大切などころといえるのではないのでしょうか。(女性)

ノラネコ達の現実がわかりやすく素晴らしい映画だと思います。その地域地域のボランティア活動と避妊、エサのモラルなどを考えることで、ネコ好き、嫌いな方も良い地域になり、殺処分もなくなったらどんなによいだろうと思います。私もネコや犬の問題に取り組んで行きたいと改めて思いました。(50代 女性)

個人で近所にいる猫のTNRをおこなっています、なかなか減らずに減入る日々ですが、これからもがんばっていこうと思いました。(30代 女性)

ボランティアをはじめたばかりです。参考になりました(60代女性)

さまざまな団体の地域猫活動が紹介されて参考になりました。殺処分ゼロを目指すのは同意でき、TNRも評価できるのですが、ネコが生まれてくる権利を奪ってしまうようで時々違和感を感じる時もあります。ノラネコとして生まれてきても、住み家と食事を地域の住民が暖かくサポートするような社会になるほうが、ネコの目線にそった考え方のように思います。人の飼猫になるのか、ノラネコとして生きるのかはネコの意志を尊重すべきとおもいます。西新宿の再開発で置き去りにされたネコが10匹ほど居ますが、食器を毎朝片付けるという条件で、工事現場責任者に許可を得て、エサをやっています(40代男性)。

楽しみにしていました。雨の中にもかかわらず多々の方々がいらしたことに、いつかきっとゼロになると希望がもてました。映画

はとてもわかりやすかったです。普通の方々が活動を話している姿がとても身近に感じられてとてもよかったです。練馬に住んで野良猫5匹手術をしてTNRをしました。まだまだこれからの問題なんだと思います。

動物の映画はなかなかない中で、『猫』だけの映画を作っただき、ありがとうございました。とても勉強になった事ばかりです。私も今、5匹の元外猫を家族として暮らしています。その間に亡くなった子もいますが、現在5匹です。最後まで見守ることが私の責任と感じております。ありがとうございました(30代 女性 ねりまねこから)

私は幡ヶ谷で地域猫7匹のお世話をしています。また、助けを必要としている猫たちのお世話をさせていただいています。幡ヶ谷が自由猫たちにとって安心して幸せに一生まっとうできるようにサポートしてゆきたいと思います。『その国の気高さ、尊さは、その国の人々の動物に対する扱い方で判る』マハトマ・ガンジー
大変学びとなりました。映像から愛が伝わってきました。ぜひ第二部もお願いします。またイギリス、イタリア、フランスの地域猫を取材して下さい、もちろん日本も。(50代女性 南中野地域ねこの会から)

とても良い映画でした。2匹のネコと1匹のイヌの里親です。普段から何か出来ないかなあと思っています。大きな覚悟がないとかかわれない(ボランティアとして)印象をもってしまい、なかなかふみきれません。自分の地域のネコたちに気軽にかかわれることがたくさんふえるといいなと思います。たとえば、あしたは時間があるから掃除しようとか。助けたいというより、可愛がりたい人も参加できたら、たくさんの方がかわれると思います。(30代女性 ねりまねこから)

トークショーでもおっしゃってましたが、外国の事情とくらべることによって、日本の現状が客観的に見れて勉強になりました。あと、ボランティアの方々の保護などの一連の流れをわかりやすくみれたのはよかったです。個人的には、やはりネコを飼っている人同志でわかる感覚部分でほっこりさせていただきました(40代男性)

(まだ、続きますー)